

総括ワークショップを全パイロット省で開催

11月後半から12月中旬にかけて、全パイロット省で、プロジェクト活動の総括を目的としたワークショップを開催しました。ワークショップでは、省保健局、病院代表者が、2年間の臨床研修の実績を報告しました。発表では研修実施上の工夫や教訓も報告され、プロジェクト期間中に臨床研修を導入した病院だけでなく、今後導入を検討している病院にとっても実りのあるワークショップとなりました。ワークショップの後半には、プロジェクト終了後に省内で自律的に臨床研修を実施するための方策についても病院ごとに検討し、実現可能性や困難点を含めた計画を共有しました。今後プロジェクトでは、これらの発表内容をもとに、臨床研修の全国普及の戦略ペーパーを作成していきます。



ビンフック省：臨床研修を通じた新人・指導者・看護部の学びと具体的な経験が共有された。また、郡病院をはじめとする各病院に臨床研修を導入するために、省病院の看護指導者が中心となり相談役になることが示された

ディエンビエン省：2019年、数年ぶりに看護師の採用があった同省。このため、ほとんどの病院が研修開始後間もない時期での参加であったが、各病院の看護部長らは、積極的に経験を発信していた

ビンディン省：病院長の参加が最も多かった同省。組織長の理解は、臨床研修の実施のみならず、多職種間での看護師の役割理解や能力強化を進めるうえで、重要な要素であったことが教訓として示された

ドンナイ省：パイロット省最多の病院の代表者が参加した。自律的な実施に向け、省内組織横断的な委員会を設立する計画が発表された。当日の様子は地元ケーブルテレビで放映された

プロジェクトの効果をどのようにはかるのか？－質的研究法を用いた評価



“臨床研修による変化”をテーマに各自が撮影した写真を題材にディスカッション。ファム・ゴック・タック医科大学看護学部のダン・チャン・ゴック・タイン先生のファシリテーションで看護師たちの経験が引き出された。

JICAが実施するプロジェクトの効果は、対象国政府とともに設定される目標値の到達度によって評価されます。本プロジェクトでは、通常の事業評価に加え、新人看護師の能力（コンピテンシー）の変化を数値で測定する調査（量的研究、Vol.35参照）と、看護師や病院にどのような“変化”がもたらされたのかをディスカッションにより明らかにする調査（質的研究）を実施し、より多面的で科学的な評価を行うことに努めました。質的研究の手法を用いたディスカッションは、経験共有ワークショップの前日に全省で実施され、参加した看護師からは数値では示すことのできない“変化”が語られました。